

一般財団法人中部公衆医学研究所

令和2年度 事業報告

令和2年2月に感染が始まった新型コロナウイルス感染症は、瞬く間に全国に拡大し4月の中旬には全都道府県に緊急事態宣言が発令されました。これにより当財団も宣言期間中は完全休業となり健診事業がストップしました。緊急事態宣言解除後に健診事業は再開しましたが、住民健診では半数の市町村で集団で行う特定健診・がん検診の中止や延期がありました。企業健診も5月から7月までの間、多くの企業で健診の延期があり、その後の日程調整に大変苦勞致しました。これらの影響を受け健康診断事業は住民健診で大幅な受診者減少があり、企業健診でも受診者の減少がありました。このため健康診断事業は前年比7%の減収となりました。環境検査事業は他検査機関との競合による価格競争が依然として続いておりますが、新型コロナウイルス感染症の影響はなく例年同様の事業を進める事ができ前年比4%の増収となりました。

また、医師会・飯田市・保健所からの要望を受け、9月より新型コロナウイルス抗原定量検査を開始しました。外部精度管理は例年同様に参加し精度の維持・向上に努めました。しかし対面での外部研修会が全て中止となった為、リモートによる外部研修及び内部研修を実施し職員の技術向上に努めました。

1. 健康づくり支援事業

(1) 保健指導・健康相談

①保険者（協会けんぽ・健康保険組合）から委託を受けて、特定保健指導と健康相談等を実施し、生活習慣・食生活の改善の支援を行なった。

コロナ禍の為、リモートによる特定保健指導も実施した。

	2年度	元年度	30年度
特定保健指導	1,005	1,012	1,190
健康相談	382	516	507
食事調査	18	323	540

②事業所（社員）のメンタルヘルスに関わるストレスチェック・メンタル相談を行ないメンタルヘルス改善の支援を行なった。

	2年度	元年度	30年度
ストレスチェック	20,792	22,429	19,715
メンタル相談	31	66	78

(2) 健康教育・講演会

①事業所・団体からの依頼による健康支援に関する健康講話・教室等を実施した。

健康講話・教室	4事業所	受講者	39名
メンタルヘルス講話	2事業所	受講者	17名

2. 健康診断等事業

(1) 職域（企業）健康診断

①長野県内の事業所の労働安全衛生法に関わる健康診断を実施した。

雇入健康診断、定期健康診断、特定業務健康診断（夜勤者等）

特殊健康診断（有機溶剤・鉛・じん肺・特定化学物質・行政指導等）

	2年度	元年度	30年度
雇入れ健康診断	598	791	802
定期健康診断（全項目）	19,409	21,733	20,917
定期健康診断（省略項目）	1,357	1,544	1,401
特定業務健康診断	3,954	5,346	4,946
特殊健康診断（有機・特化等）	14,671	15,111	13,977
指導勸奨特殊健康診断	4,219	4,637	3,581

②保険者（協会けんぽ・健康保険組合）から委託による長野県内の事業所の

35才以上の生活習慣病予防健診、がん検診を実施した。

		2年度	元年度	30年度
生活習慣病予防健診		27,424	26,859	25,744
が ん 検 診	胃がん	11,491	12,527	12,809
	大腸がん	22,566	22,103	20,358
	前立腺がん	2,922	2,996	2,952
	乳がん	2,790	2,977	3,090
	子宮頸がん	2,541	2,757	2,940

(2) 地域（住民）健康診断

①中南信地域11市町村の国民健康保険の特定健康診査等を実施した。

	2年度	元年度	30年度
特定健康診査	4,156	8,726	8,941
後期高齢者健診	1,288	1,948	1,788
39歳以下健診	390	558	565

②中南信地域14市町村の各種がん検診を実施した。

	2年度	元年度	30年度
胃がん検診	2,062	5,046	5,193
胃がんリスク検査	142	165	243
大腸がん検診	12,634	12,911	12,762
肺がん検診	3,158	3,373	3,606
前立腺がん検診	813	2,342	2,650
乳がん検診	4,706	5,639	5,941
子宮頸がん検診	1,127	1,114	1,040

(3) 学校各種検査

飯田下伊那・上伊那地域における保育園・小学校・中学校・高等学校
養護学校における学校保健法に基づく各種検査の実施

	2年度	元年度	30年度
尿検査	21,578	21,829	21,341
寄生虫卵検査	0	297	250
心電図検査	4,617	4,495	4,091
貧血検査	6,165	7,265	7,001
脂質検査	3,785	4,242	4,576

(4) 腸内細菌・新型コロナウイルス検査

飯田食品衛生協会からの委託による食品取扱業者の赤痢菌・サルモネラ菌検査と
飯田下伊那地域の保育園・小中学校・老人施設等の給食施設従業員の赤痢菌
サルモネラ菌・大腸菌0-157検査を実施した。

無症状希望者、保健所からの依頼の新型コロナウイルス抗原定量検査を実施した。

	2年度	元年度	30年度
施設給食従事者	9,412	12,055	12,011
食品取扱業従事者	4,262	6,805	7,016
SARS-CoV 2 抗原定量検査	1,101	—	—

3. 環境衛生等事業

中南信地域の市町村、国及び県、企業等の契約に基づく検査を実施した。

		2年度	元年度	30年度
水道水関係	定期項目検査	2,999	3,037	3,020
	基準項目検査	280	277	308
	その他項目検査	760	774	796
一般水関係	省略項目検査	925	814	1,028
	基準項目検査	27	31	17
食品衛生協会水質検査		116	105	111
食品検査		804	913	912
浴槽水検査		453	509	514
河川水検査		1,220	1,007	1,502
土壌・農薬・産業廃棄物検査		190	223	279
排水検査		1,384	1,395	1,681
騒音・振動測定		13	13	11
臭気測定		31	35	31
学薬飲料水検査		142	148	156
学薬プール水検査		169	202	208
一般プール水検査		100	99	97
作業環境測定		545	488	450

4. 精度管理

(1) 認定更新の維持、審査に向け自主監査を実施した。

【健康づくり部】 労働衛生サービス機能評価（健康診断・ストレス改善支援・作業環境）

次回 令和4年1月更新審査

マンモグラフィ検診施設画像認定

次回 令和4年2月更新審査

【環境衛生部】 水道GLP認定（水道水質検査50項目）

次回 令和5年10月更新審査

(2) 外部精度管理に参加し、各種検査の精度維持に努めた。

【健康づくり部】

全衛連総合精度管理

臨床検査	98点	評価A
労働衛生検査	99点	評価A
腹部超音波検査	95点	評価A
胸部X線検査	90点	評価A
胃部X線検査	88点	評価A
日本医師会（臨床検査）	99点	評価A
長野県医師会（臨床検査）	100点	評価A
日本臨床検査技師会（臨床検査）		評価A

【環境衛生部】

厚生労働省	六価クロム、フェノール	基準クリア
長野県水道協議会	ヒ素、フッ素、亜硝酸性窒素 蒸発残留物	基準クリア
全国給水衛生検査協会	塩素酸、鉄	基準クリア
長野県	チウラム、鉛	基準クリア
環境省	COD、硝酸性窒素 亜硝酸性窒素、アンモニア性窒素	基準クリア

(3) 個人情報管理・リスクマネージメント

・プライバシーマークの認定更新の維持、審査に向け自主監査を実施した。

令和3年5月18日 更新審査

・リスクマネージメント推進委員会を開催し、事故・クレーム・ヒヤリハット等の分析を行い、リスク対策を行なった。

5. 研修・報告

(1) 関連学会・研修会等が中止の為、リモートによる外部研修及び内部研修を行い職員の技術向上、健診検査等の精度の向上に努めた。

*外部研修会参加

新型コロナウイルス対応研修会 (リモート)	長野県医師会
2年度精度管理調査結果検討会 (リモート)	長野県環境保全研究所
作業環境測定 個人サンプリング特別講習	日本作業環境測定協会
作業環境測定 ブラッシュアップ講習会(リモート)	日本作業環境測定協会
作業環境測定 技術向上研修会(リモート)	日本作業環境測定協会
作業環境測定 溶接ヒューム改正法令説明会(リモート)	日本作業環境測定協会

*内部研修会

超音波検査技術講習会 (外部講師)
スマートジェイワン i p a d 取扱い講習会
プライバシーマーク・個人情報保護研修会
新型コロナウイルス S A R S - C o V 2 抗原定量検査講習会

(2) 事業年報 (令和元年度)、機関紙中部公衆たより (23号・24号・25号) の発行を行なった。

6. 機器等の整備を行なった。(主なもの)

- ・新型コロナウイルス検査用 E S C D 安全キャビネット
- ・T-N-T-P 分析装置 ・健診用ワンボックスカー (グラントキャビン)
- ・ヘリカルCT車 (中古)
- ・スマートジェイワンシステム (健診現場データ収集システム)
 - * i P a d (スマートデバイス) を活用し、収集した検査・測定データがネットワーク (クラウド) を経由してリアルタイムに反映されるシステムです。
 - ・受診者の検査内容と進捗状況がリアルタイムで確認でき検査漏れを防止
 - ・測定機器とのオンライン接続で入力ミスを削減。
 - ・帰着後のデータ取込み作業の時間を削減
 - ・健診データはデータセンターで管理、端末に個人情報が残らないのでセキュリティリスクを軽減。
 - ・研究所内で出張健診の進捗状況をリアルタイムで確認できる。